

研究環境調査アンケート (2018年7月25日版)

1. 性別をお選びください。

[ラジオボタン]

男性

女性

選択しない

2. 生まれた年をお選びください。

[プルダウンメニュー]

1900年から2000年のどれか1つを選択

3. 研究分野を選択してください。(複数選択可)

[チェックボックス]

基礎系 応用系

理論系 実験系

4. 以下の中から研究領域を選択してください。(複数選択可)

[チェックボックス]

素粒子論領域

素粒子実験領域

理論核物理領域

実験核物理領域

宇宙線・宇宙物理領域

ビーム物理領域

領域1: 原子分子、量子エレクトロニクス、放射線

領域2: プラズマ

領域3: 磁性

領域4: 半導体、メゾスコピック系、量子輸送

領域5: 光物性

領域6: 金属(液体金属、準結晶)、低温(超低温、超伝導、密度波)

領域7: 分子性固体

領域8: 強相関電子系

領域9: 表面・界面、結晶成長

領域10: 構造物性(誘電体、格子欠陥、X線・粒子線、フォノン)

領域11: 物性基礎論、統計力学、流体物理、応用数学、社会経済物理

領域12: ソフトマター物理、化学物理、生物物理

領域13: 物理教育、物理学史、環境物理

物理と社会

その他

5. 以下の中から主に所属する機関の分類として当てはまるものを1つ選択して下さい。

国立大学内の分類については前回のアンケートと同じ分類を踏襲しています。

学会誌\*\*\* (リンク) を参照

「国公立大規模大学:1995 以前から博士課程 がある大学」

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、首都大学東京、名古屋大学、京都大学、大阪大学、大阪市立大学、広島大学、九州大学

「国公立大学中規模大:2007 年時点で理学部、理工学部に博士課程のあった国公立大学」

弘前大学、山形大学、茨城大学、埼玉大学、千葉大学、お茶の水女子大学、横浜市立大学、新潟大学、信州大学、富山大学、金沢大学、静岡大学、大阪府立大学、神戸大学、兵庫県立大学、奈良女子大学、島根大学、岡山大学、山口大学、愛媛大学、高知大学、佐賀大学、熊本大学、鹿児島大学、琉球大学

[ラジオボタン]

国公立大規模大学:1995 以前から博士課程 がある大学

国公立大学中規模大:2007 年時点で理学部、理工学部に博士課程のあった国公立大学

国公立大学小規模大:その他の国公立大学

私立大学 2014 年時点での KAKEN データベース研究機関一覧に挙げられている私立大学。

短大、高専

独立行政法人、国立研究所、大学共同利用 機関の研究組織(24 機関)

民間等の研究機関

その他

所属なし (名誉教授等)

6. 所属している学部・学科・センター等の分野として当てはまるものを1つ選択して下さい。

[ラジオボタン]

理学系

工学系

理工系

情報科学系

教育学系

医療系

人文系

教養系

その他

所属なし

7. 過去に応募した科研費の分類をお答えください。(複数回答可)

[チェックボックス]

情報学

環境学

複合領域

総合人文社会

人文学

社会科学

総合理工

数物系科学

化学

工学

総合生物

生物学

農学

医歯薬学

その他

科研費に応募したことはない

8. 貴方の任期についてお伺いします。当てはまるものを1つ選択して下さい。

(定期的に契約を更新するが、定年まで何度でも更新できる身分は任期無しに含めてください。)

[ラジオボタン]

任期無しのポスト

テニユアトラック

任期付きのポスト

所属なし

9. 所属機関における身分として当てはまるものを1つ選択して下さい。

[ラジオボタン]

機関の長相当

教授相当

准教授・常勤専任講師相当

助教相当

研究員・ポスドク相当

非常勤講師相当

研究・教育補助者相当

研究管理者相当

研究開発・技術者相当

専門学校・小中高等の教員相当

コミュニケーター相当

その他

所属なし

10. 所属機関において所属する研究室、研究グループの予算等（その一部の場合も含む）の執行に責任を持つ立場にありますか。

[ラジオボタン]

はい

いいえ

[分岐]

10. で「はい」を選んだ人

10-1. 2018年4月1日時点での研究室、研究グループ等の規模についてお伺いします。

以下の欄に半角数字で人数を記入してください。（該当者がいない場合は0を入力して下さい。）

教育・研究職員（任期無） 人数；

教育・研究職員（任期有） 人数；

博士課程（博士後期課程）学生 人数；

修士課程（博士前期課程）学生 人数；

学部学生 人数；

有給研究員（学振PDや科研費のポスドク等） 人数；

無給研究員 人数；

10-2. 研究室、研究グループ等に毎年配分される経常的な予算等についてお伺いします。

教育費、研究費等の名目に分れていますか。[ラジオボタン] 分かれている 分かれていない

一人毎に予算は付きますか、それとも、研究室単位ですか。 [ラジオボタン] 研究室単位 個人単位

上の配分費には共通経費（自分で自由に使えない経費）が含まれていますか [ラジオボタン] 含まれている 含まれていない

共通経費という予算項目がある場合、それにはどのようなものが含まれますか。無い場合は空欄で結構です。:自由回答欄

10-3 2017年度に研究室、研究グループ等の大学院生が「国内で開催された学会・研究会に参加するための旅費」についてお伺いします。

以下の欄に半角数字で整数を記入してください。（大学院生がいない人はすべての欄に0を記入してください。）

旅費を経常予算、科研費、その他の外部資金から支出した割合（金額ベース）（％）：

旅費を大学院生が自己負担した割合（金額ベース）（％）：

旅費を教員が自己負担した割合（金額ベース）（％）：

大学院生の国内の学会・研究会への一人あたり1年間の平均出張回数：

10-4 2017年度に研究室、研究グループ等の大学院生が「国外で開催された学会・研究会に参加するための旅費」についてお伺いします。

以下の欄に半角数字で整数を記入してください。（大学院生がいない人はすべての欄に0を記入してください。）

旅費を経常予算、科研費、その他の外部資金から支出した割合（金額ベース）（％）：

旅費を大学院生が自己負担した割合（金額ベース）（％）：

旅費を教員が自己負担した割合（金額ベース）（％）：

大学院生の学会・研究会への一人あたり1年間の平均出張回数：

10-5 大学院生の学会・研究会への参加についてうかがいます。

数年前と比べて参加させやすくなっていますか。

もっとも当てはまると思うものを1つ選択して下さい。

[ラジオボタン]

させやすくなっている。

変わらない。

参加させにくくなっている。

わからない。

[問10による分岐終了]

11. 数年前と比べて、教育時間はどうなっていますか。

もっとも当てはまると思うものを1つ選択して下さい。

[ラジオボタン]

増えている。

変わらない。

減っている。

分からない。

該当しない。

12. 所属機関から配布される経常的な研究・教育予算を持っていますか。

[ラジオボタン]

持っている

持っていない

[分岐]

12 で「持っている」を選んだ人

12-1 所属機関から研究室・研究グループに配分された 2017 年度の経常的な研究・教育予算の額を以下の分類からお答えください。

- 1) 10 万円未満、2) 10 万円以上 20 万未満、3) 20 万円以上 50 万円未満、4) 50 万円以上 100 万未満、  
5) 100 万円以上 200 万未満、6) 200 万円以上 500 万未満、 7) 500 万以上  
(教育費、研究費とわかれていない場合は、「教育研究費」の欄にご記入ください。)

教育費： [プルダウンメニュー]

研究費： [プルダウンメニュー]

教育研究費： [プルダウンメニュー]

その他： [プルダウンメニュー]

差引かれる共通経費など： [プルダウンメニュー]

[問 12 による分岐終了]

13. 過去 10 年度（2009 年度～2018 年度）で科研費の支援があった年度の数と科研費の応募資格のあった年度  
の数を半角数字で整数でお答え下さい。

(種目、新規、継続、代表、分担、を問いません。)

科研費の支援があった年度の数：

科研費の応募資格のあった年度の数：

14. 所属組織において科研費の応募に関する扱いはどのようになっていますか。

当てはまるものを 1 つ選択して下さい。

[ラジオボタン]

現在科研費をもらっていないくて応募資格のある職員は全員、科研費に一件以上応募しなければならない。

現在科研費をもらっていないくて応募資格のある職員は科研費に応募することが望ましいとされている。

科研費の取得できる可能性が高い人以外はなるべく応募しないことが望ましいとされている。

科研費の応募に関して、取り決めはない。

15. 所属機関において科研費の応募書類作成において、書類の内容に関する助言を受けられるかお伺いします。

[ラジオボタン]

助言を受けられる。

助言を受けられない。

16. 2017 年度、科研費の配分を受けていますか。

[ラジオボタン]

受けている

受けていない

[分岐]

16. で「受けている」を選んだ人

16-1 取得している科研費の種類を以下の中から選択してください。(複数選択可)

[チェックボックス]

特別推進研究 (代表)

特別推進研究 (分担)

新学術領域研究 (代表)

新学術領域研究 (分担)

基盤研究 (S) (代表)

基盤研究 (S) (分担)

基盤研究 (A) (代表)

基盤研究 (A) (分担)

基盤研究 (B) (代表)

基盤研究 (B) (分担)

基盤研究 (C) (代表)

基盤研究 (C) (分担)

挑戦的研究 (開拓) (代表)

挑戦的研究 (開拓) (分担)

挑戦的研究 (萌芽) (代表)

挑戦的研究 (萌芽) (分担)

若手研究 (S)

若手研究 (A)

若手研究 (B)

研究活動スタート支援

奨励研究

国際共同研究強化

国際活動支援班

帰国発展研究

16-2 配分された 2017 年度の科研費の直接経費の総額はいくらですか。以下の分類から 1 つ選んでください。

[ラジオボタン]

- 1) 20 万円未満、2) 20 万円以上 50 万円未満、3) 50 万円以上 100 万円未満、
- 4) 100 万円以上 300 万円未満、5) 300 万円以上 1000 万円未満、
- 6) 1000 万円以上 3000 万円未満、 7) 3000 万円以上 1 億円未満、8) 1 億円以上

[問 16 による分岐終了]

17. 2017 年度、科研費以外の所属機関外からの競争的資金を配分されていますか。

[ラジオボタン]

はい

いいえ

[分岐]

17. で「はい」を選んだ人

17-1 配分されている競争的資金を以下の中から選択してください。(複数選択可)

[チェックボックス]

CREST

さきがけ

ERATO

ACCEL

ALCA

社会技術研究開発

革新的先端研究開発支援事業

未来社会創造事業（探索加速型）

未来社会創造事業（大規模プロジェクト型）

研究成果最適展開支援プログラム

産学共創基礎基盤研究プログラム

戦略的イノベーション創出推進プログラム

地域産学バリュープログラム

大学発新産業創出プログラム

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム

世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム

産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム

先端計測分析技術・機器開発プログラム

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

戦略的国際共同研究プログラム

最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム

統合型材料開発プロジェクト

元素戦略プロジェクト

宇宙航空科学技術推進委託費

原子力システム研究開発事業

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業

厚生労働省科研費

防衛装備庁安全保障技術研究推進制度

その他：（記入欄）



17-2 17-1 で選択した競争的資金に関して 2017 年度に配分された直接的経費の総額はいくらですか。

以下の分類から 1 つ選んでください。

[ラジオボタン]

- 1) 100 万円未満 2) 100 万円以上 300 万円未満 3) 300 万円以上 1000 万円未満 4) 1000 万円以上 3000 万円未満  
5) 3000 万円以上 1 億円未満 6) 1 億円以上 3 億円未満 7) 3 億円以上

[問 15 による分岐終了]

18. 2017 年度、所属機関からの競争的資金を取得していますか。以下の分類から 1 つ選んでください。

- 0) 取得していない、1) 20 万円未満、2) 20 万円以上 50 万円未満、3) 50 万円以上 100 万円未満、4) 100 万円以上 300 万円未満、  
5) 300 万円以上 1000 万円未満、 6) 1000 万円以上 3000 万円未満、 7) 3000 万円以上 1 億円未満、8) 1 億円以上

19. 2017 年度に教育研究費を自己負担したことはありますか（本来、校費・研究費で賄うべきもの）

[ラジオボタン]あった なかった

あった場合は、内容を具体的にお書き下さい： 自由記述欄

20. 2017 年度、貴方が参加した国内の学会・研究会などの参加状況についてお伺いします。

（国外在住の方は、在住の国内で開催されたものについてお答えください。

回数または金額を半角英数で入力してください。最後の設問は自己負担がない場合は 0 を入力）

学会・研究会に参加した回数：

主催者から旅費補助があったものの回数：

所属機関からの旅費による回数：

科研費からの旅費による回数：

旅費を自己負担した金額（万円単位で 1 万円未満四捨五入）：

21. 2017 年度、貴方が参加した国外の学会・研究会などの参加状況についてお伺いします。

（国外在住の方は、在住の国以外の国で開催されたものについてお答えください。

回数または金額を半角英数で入力してください。最後の設問は自己負担がない場合は 0 を入力）

学会・研究会に参加した回数：

主催者から旅費補助があったものの回数：

所属機関からの旅費による回数：

科研費からの旅費による回数：

旅費の自己負担額の年間の総額（万円単位で 1 万円未満四捨五入）：

22. 国内、国外の研究会に参加するために十分な旅費が確保できているか伺います。  
もっとも当てはまるものを1つ選択して下さい。

[ラジオボタン]

十分な旅費が確保できている。

ギリギリで確保できている。

少し足りない状態である。

大幅に足りない状態である。

23. 研究室・研究グループあるいは貴方自身の学術論文等に関する費用について伺います。  
金額、論文数を半角数字で入力して下さい。

2017年度、1年間に学術論文を掲載するために使用した金額：

掲載論文数： 掲載料無し 編 30万円未満 編、掲載料30万円以上 編)

2017年度、1年間に使用した学術論文別刷り代金：

2017年度、1年間に学術論文を読むために個人で使用した金額：

24. 研究に必要な学術論文が読める状況か伺います。(複数回答可)

[チェックボックス]

とくに不便は感じない。

必要な文献がすぐに手にはいらないことがある。

必要な文献を読むのに、費用が発生するため、読むのを差し控えることがある。

所属する研究室では必要な雑誌にアクセスできない。

25. 教育研究等への時間配分について伺います。平日、1日(24時間)のうちで

以下の活動に費やした時間の割合(%)を半角数字(整数)で記入してください。

講義がある日、無い日、委員会が多い日等あると思いますが、年間平均としておよその割合をお答え下さい。

研究時間と教育時間の区別は各自のご判断にお任せしますが、大学院生との共同研究は、研究活動ではなく教育活動とお考え下さい。

(学生の方は、教育活動はTAの時間の割合を、職場内の会議等は研究室ミーティングの時間の割合を、社会活動はアルバイトやボランティアの時間等をご記入ください。)

教育活動(%)：

研究活動(%)：

職場内の会議、委員会活動、事務的な作業等(%)：

社会活動(%)：

家事、育児、介護(%)：

通勤、娯楽、睡眠、その他(%)：

26. 数年前と比べて、研究時間はどうなっていますか。  
もっとも当てはまると思うものを1つ選択して下さい。  
[ラジオボタン]

増えている。

変わらない。

減っている。

27. 数年前と比べて、研究生活に感じる満足度はどう変化しましたか。  
[ラジオボタン]

高まっている。

変わらない。

減っている。

28. 数年前と比べて、研究生活に感じる満足度はどう変化しましたか。  
もっとも当てはまると思うものを1つ選択して下さい。  
[ラジオボタン]

高まっている。

変わらない。

減っている。

29. 教育研究資金の配分に関して、ご意見、提案等をお書き下さい： 自由記述欄

30. 教育研究環境に関して、ご意見、ご提案など、お書き下さい： 自由記述欄

31. 日本物理学会へのご要望がございましたら、ご自由にお書き下さい： 自由記述欄